

よくある質問

- ☐ 車いすで座って勉強するのと、机やいすを使うのはどっちがいいの？→①②③
- ☐ 学校にある児童机やいすでは勉強しにくそう。どんなものを用意したらいいですか？→①②③
- ☐ 体が小さくていすが合わないときはどうしたらいいですか？→④⑤

ヒント① よく使われるいす・机の種類と組み合わせ

車いすは万能いすではありません。

車いすは、お子さん一人一人の体格や身体能力に合わせて作られています。しかし一台の車いすで、「移動」「活動（勉強や食事等）」「休息」などすべての場面をカバーするのは難しく、場面によって他のいすなどに乗り換えが必要です。リクライニングした姿勢だと心身が沈静化し、前傾姿勢になると活動への構えができ活性化するなど、心理面にも影響が現れます。

学習の時に使ういすや机には図のような種類があります。

【いす】
車いす 児童いす
養護いす 座位保持
いす



【机】
児童机 養護机
車いすに付属の机

ヒント② いすのいろいろ

車いす



学習で使う場合には、保護者の方に、お子さんの車いすが学習で使うことを想定したものかどうか尋ねてみて下さい。

通常の児童・生徒いす
(傾かずに座れる子)

45分(50分)の授業で、極端に姿勢が崩れず、字を書いたりするときに姿勢が大きく傾かないお子さんであれば、このいすでも構いません。

養護いす
(いすに座れるけれど、
姿勢が崩れやすい子)

手すりや高い背もたれが付いたいすです。左右へのお尻のずれも少し防ぐ機能があります。車いすより体を動かしやすいのがメリット。

座位保持いす
(一人では座れない子)

一人一人の体に合わせて作られた背もたれや座面、ベルトなどで姿勢を支えてくれます。座位保持いすを持っているお子さんの勉強には必ず使う、と考えて下さい。

ヒント③ 机のいろいろ

通常の児童・生徒机 (物の操作に問題のない子)



【メリット】場所を取りません。

【デメリット】天板が狭く、物を置いたり扱ったりがしにくいです。引出しやフレームが邪魔をして車いすが十分奥まで入れない場合もあります。

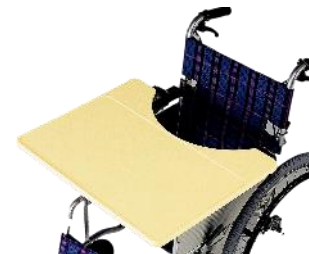
養護机 (物の操作が不器用な子・姿勢が崩れやすい子)



【メリット】天板が広く、端には1 cm位の返しが付いていて勉強用具の落下を防ぐことができるので、学習に集中しやすいです。手前が丸くカットされており、そこに入ることによって肘を着いて姿勢を支えられます。引出しの位置やフレームも工夫されていて、車いすできちんと奥まで入ることもできます。

【デメリット】サイズが大きく、重いので、通常の学級での配置には工夫が必要です。

車いすに付属した机 (学習には不適切)



一見便利ようですが、天板が小さく固定も不安定なので学習に向いていません。校外での学習向けと考えて下さい。

ヒント④ 養護いすでも大きすぎる場合があります。

- (1) 座面の奥までお尻を入れられますか？座面の奥行きが長すぎて、前の方にチョコンと座っていませんか？不安定な姿勢や、猫背の原因になります。
- (2) 座面の幅が広すぎて、一方に偏って座っていませんか？上半身の傾きの原因になります。



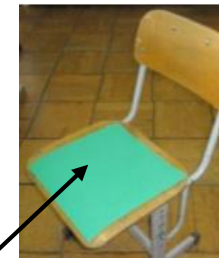
肢体不自由のあるお子さんの場合、姿勢の崩れに気づきにくく、どんどん姿勢が悪くなることがあります。いすは学習活動の土台。座面の調整が必要です。

ヒント⑤ 座面が大きすぎる場合のカンタン調整方法



お風呂マットなどの素材を切って重ねて、背もたれや手すりの内側に固定します。

お尻が前に滑ってしまう場合は、滑り止めシートを置くなどの工夫があります。



足置き台はスチロール製のブロックやパネルなどを貼り合わせて作ります。上面、底面には木の板を張り付け、重さを加えて安定させます。底面に滑り止めマットを張るとよいでしょう。

養護いす・養護机などの情報は・・・

- (1) 学校にある備品カタログに載っています。
- (2) 「学校備品.COM」のホームページ →



旭洋鉄工株式会社
「すべりどめシート」



高松支援学校ホームページ
「肢体不自由児の支援のヒント」
コーナーにも関連する資料を公開
しています。



この資料についてのお問い合わせは・・・

香川県立高松支援学校「からだと学びの相談センター」 (087) 865-4500